

発 产作 行 聖ガアト 星 学 中 鶮 星 校 洛 中 新 部 庫

見上短か

出る

古墨言

行か

1)

反

前

聖 本 が、今比 √. : 生 何 生 tt は き かい くこと E 一を歩 たっ 0) 出 9 書 当に侃君の生涯は 友達侃君 十年前三日 女 書れた言葉 如 3 からもうー 来るの 我帰らざる道之が 侃 ŧ か 办 た十二年に過ぎ () 圖 11 1) ぎ行け て未 出来な 1) 言葉 君 はや帰らざる まし に当 はも であ 約聖 た は私 7 此 7 店 11 あ の言葉 り・しと振 ò は 0 ます 書 7. 此 再 達 0 1) it) L 其 短 # 他 0) び る 0) 0 た 歩 去 華 幼 中 は 浙 す 0) 万と玄 2 3 曜 て帰 と学 寸. 0 都 見 0) 7 Z

L

甘

々は

明

日

どうな

るか

ま

t

4

即ち

私は

死 出

7.

よ

3 がが

然

其

誰

ŧ

0)

です

皆な

1

が は

京

の様な大

都会の

駅

7

何

ò

沢

山

な人

支眺

80

#

4

Z,

人生と云

ò

ŧ

は

今日あ

つ

7

明

H

石

分ら

ない

0)

7.

あ

1)

志

4.

たの 最後の 直し 縚 た 3 校 侃 13 つて見る 0) です。 土曜日 羁学校 時 7 1= 君 1= かい 帰り 表去 いた は H 1= は 其 日 1= 一曜日が ので よく 本をきち L 0 Y な ました 1 F. 风 表る 朝きち つ 甎 考 多 君出 7 は そ 1) え L 侃 弘 L 7 去 君 月 中 ま 2 L 華 もの です て何の保証も 11 え 1= しよう るとし 将表の 死めな 1 は何 ò. 本 ても其 亊 例 2 1+ 些 九 7 1=

亊玄認 人生 1 の同級生であるこの のでありましようか、皆さ の生涯を終るかも知れませ る 君の死が若くても も次の 或 様な年頃の少年は衙 か と広 る人々は幼 も 人々はハナ 知 B うも 7 どと考え 様になう事は れませ 立う果敢ない す な あ 刘 死 ども皆 0 0) は大 ぬ事を 生 年 () ん て 死 る は () 時に ŧ あ と六 若 と思うで 13 Z に対 同 Z. 爱遠 1) 広 ľ 生 其 亊 侃 = ま 1 3

洛 新等が出 嵐 952 な 皆善い 望みを ますが な よく な व 北 礼 1) 本 りた ばな 当に其の通りであ は出来るだけ完全に皆 けませ から と云う此 1 3 も知れませ ま 10 せん でしなければなら 満す 辛を 1) に入 来る 1) 1) 学生 6 # 此 と念願し L 私 等を此 の私 n L t 0) 善以要玄此 達は今日す たい であ それ てお 4 今直ぐ 6 達 つ です して てお 又良 ಶ 0 か 私 0) 善 哲さ なけ 爭 」業 1) 死 か 1) は 支 . 1 7 は < 污 ま 3 ぬ 私達は

ここで校長先生を初

0)

Z

ません. 3 故 数にし を何卆皆さん 成る様に努力 1= いても你らなけ 庭に於いても、 勤勉と去う様な習慣を家 7 ったり、後順や、親切や、丁寧 ん即ち孝行の かい して下さ ならば 6 ŧ 0 知れな 義務を今直 なけれ 明 今日 1.1 H 0) L 1) では遅ず 私は紳士 酮 ばなり モツ れば 間度をつ J-学校に於 と大う音 5 ぐ果す ませ 1 な 7 1) 何 1=

意玄述 について悲しんでいらつしやる侃君 鉄一同は此の 0) して学校 両親 べたい 15 の教職 心からの 不幸な出来 と思ってます 員及び 萩
棹 垂 牛 は何の渡りもなく

が

飛び

立

7

て行

つた

あ 侃

0

それ け、

×

n

胸

をお

۲

ら

#

私

達

の悲し

みもざるこ

Z

私達のめい

灰

達

君

明日の日曜

B

の計

画

1=

なりました

授業玄う

られ

た事も今

、は思

(1

出

n 世 寺 心 玄 ない な析 受け 界 1= 様に る様に天主様 於いて りを捧げる事を忘 したいもの 完全 な幸福 に熱 で

0)

人一人は年には

財係

<

日

で死

ぬか

も

知

ければ死なない・こと私

達

二十年七三

+ ŧ

年も たこ

經 机

た

な

左

. 1

0

产

1

0

ら

ナド 神 父

しま を解 う 噫 1= ŧ 々何と太う悲 私達 突然 L 1) て本当 た土曜 は比 な出来事で 日 の心し にが 1= b 2 は U 盆 然 余り ( ) L 達 報 4 Z

クラ び耳に でい 嵐山 姿や声が今でもまぶたに子 つも快治 の友達では 私煙にとっ れたところだったでしよう 験に合格され中間試験もよ 君 1) それ しんでい E ۷ な 成 は立派に洛中の入学試 12 0 かご X 7 續で終られ一息つか 0) ら校内 も恵外な亊でし 10 君は小 12 で 悲しい 聞えて来る様 7 = ŧ もユーモアに富 皆を喜ばせて で明朗だった君 た亊で かい て君とは二ヶ月余 ありましたが 学校 " 玄出 か 出来事は か クをきつと楽 らず た 0) 同窓 よう, 0) です b た で 余 生

(月 1

をお祈りいたします 御両親や私達の為に幸福 ずや永遠の世界に生きて ここにつっしんで御 を護ってくれる事でしよう 今魂は地上をはなれても必

杉本 良夫

田日より期日巻査 全力盛して 学期の総仕上げだ 後は楽しい夏休み 張ろう、 存じます か 0

皆さんへ

連難に対しまして 抑示し下 整的 此波長男侃不惠の

52

でございましよう

はじめ肉身の方々の

おな

くしみ、育てられた御両親

がら

かまで

、君を

げきはいかばかりのも

君はこの世に於いてそ

0)

使命をよく果されました。

ばかり本人はうれしく頂 さいました御間情 いた姿でしよう 葬御照為なる形辞を如何 言葉通り全校夢げての都会 心より感謝致します の数々

が採り上げ洛中の名の出 た事を申訳なく存じて居 奇禍なるが故に新闻など

ります つて御報告甲上げたい た事を親として誇をも けて正しく行動致しま 瞬间まで母校の名誉に 然し本人は最後 Z

近藤佩君のお父さんから) 二七月余りの学校生活で斯 様にもおとなしくなるも のかと感じする程 の残り

頼をか 参上致度楽しみにして居 様で御校に け父兄会には<br />
是非 心からな る信

ました矢先の事とてその

あります、特に侃の為に御 悲しみも一しほ深いものが

校長先生を通じての神の 棒げ下さいました御きけは私 建 の一転機として下さった事を 一家の悲歡を新しい心の平安へ

彼が必ず御手の御力によつて 御導きであると全では感謝であ るとなう事を申上る事を御許し頃、生 禍 為 嵐 再 よ 芝 度 1= は 1) 彩 慶 思 书 行

0)

玄

+

ま

新しい生命に生きか

える

ざい 族一周決心 事玄信じ明 勤 ます め 1= 精進致し度と家 した次第でご 日 か ら 0 日々

も私達一家の者にとって引 御校への限りない愛着は今後 侃の持ち続けて余りました 切 じております この気持を感謝に併せて きつがせて頂きたいと念 に御願申上ます、

去る六日 月十 3 日

嵐 近 ... 14 嶽 、当時 一ヶ月に 侃 7 君 浮 0) 運 が 侃 な 不 7 1) 辛 君 z # 0) 北 1= 奇 新 7

○記の教会は何年前に設 K初かに生徒達が礼儀正 ら溶星中学校を見に赤ら 近の教会は今から三年前 何でありますか?こ れた時の感想?」 立される広さ 者の教育一般人の英語 と有り目的は修道志顧 に建ち立さ千五百甲ほ 楽し、雰囲気 清潔 会話に重矣がおかれている 感心さされました。またまだ 事又生徒達が忠実に学校 建物の美しくて 立派を しいので良い印象を受けました (カリエ神父さんを訪れて) 訪 則に從つてこる等は 出 画的は 靜南 る為です。 命望します。

所は皆が協力する事によって 總での事が完全になるでし 余りしかたっていませんから悪 校の規則を作る人ですか よう、又責方達は初めに学 い所は有りません、不充分な 改善の余地が切論有りますが た目的は?」 ら層屋中学校を設立され なければなりません ら立派な浴星中学の精神 まだ学校が始まってからニヶ月 左きづきあげる様努力 KT第一京都の少年達が

教育即ち身体・精神・知識 調和のある教育をする為 全な教育を受ける様に助力す 首方針によって日本の市民となる様と 特にカトリック的な教 第二は完全な 亮 思い出して見るに ない。 学び遊んだりする為に 事ではない つたり. は 心が非常に弱 同志慣れない精が、 人々から遠敬される人 互い 中には協力心がある様にリ に早く実行しよう。常に心の い然し私達の新学校の 合つて行かなければ 様に早く実行出来る物ではな ろう、短文ではあるが お互に助け合う事で争 に気をつけて又助 そして一日も早 鮑交したりする 将来仲良 協力 協力 思う 12 Z5 け お 1 Y in

洛星が

H 生

ケ月余りになった。過去を 僕達が入学してから、早や三 友達 大 用二十一 洛星中学校第一回父兄会 盛況の中に無事終る (0) 日

野球チームのなべなる 七月五日 水 スペル 球の実力をいかんなく発桐 度重なる、試合にて洛平 百三名の出席者を見る 月数 英語 国語優勝者, A 組 一 七月十四日期末為查 C 経 ダウン行れる 四中健 石見政義 水科